緊急注意喚起情報

米づくり技術情報　No.13

令和４年８月16日

日照不足の予報！きめ細かな水管理を！
病害虫の防除対策を徹底！

山形おいしさ極める！米づくりプロジェクト本部

日照不足の予報となっています。きめ細かな水管理の徹底で、稲体及び根の活力を維持して登熟を促し、高品質米に仕上げましょう！

本日、病害虫防除所から「農作物有害動植物発生予察情報 注意報第２号（斑点米カメムシ類）」が発表されました。**斑点米カメムシ類の発生量が多くなっています！また、葉いもちも広く確認されています。**基本防除後も発生状況を確認し、補完防除を行うなど対策を徹底しましょう。

◎　今後の気象

８月11日発表の１か月予報（８月13日～９月12日）では、**向こう１か月の気温は平年並みか高く、降水量は平年並みか多く、日照時間は平年並か少ない**見込みです。

◎　当面の技術対策

（１）きめ細かな水管理の徹底

・日照不足の予報となっており、登熟が緩慢となって、千粒重の低下が懸念されます。こまめな間断かん水を行って、稲体及び根の活力を維持して登熟を促しましょう。

・出穂後20日間の平均気温が28℃以上、最低気温が24℃以上と高い場合、白未熟粒の発生が増加します。間断かん水、飽水管理等を徹底しましょう。

（２）斑点米カメムシ類対策

①発生状況

８月前半（８月８～９日）に実施した畦畔・農道等におけるすくい取り調査によると、斑点米カメムシ類の平均すくい取り虫数10.1頭（平年　8.5頭）は平年並みですが、確認地点率は72.7％（平年59.1％）と高い状況が続いています。

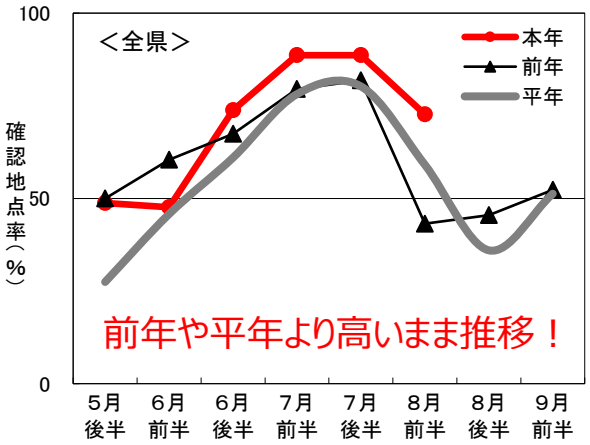

図　斑点米カメムシ類の畦畔・農道における発生確認地点率

②防除対策

ア　穂揃期及び穂揃期７～10 日後の２回の基本防除を徹底しましょう。

イ　２回の基本防除を計画しているところでも、天候等で防除時期が合わない場合には、個人防除を実施しましょう。

ウ　穂揃期７～10 日後の薬剤防除（基本防除２回目）を実施後に水田内のすくい取り調査を行い、斑点米類カメムシ類の飛来・生息が確認された場合は、基本防除２回目の７～10 日後に補完防除を実施しましょう。

エ　畦畔・農道等水田周辺の草刈りは、斑点米カメムシ類の水田侵入を促し、斑点米の発生を助長するので、原則行わないようにしてください。やむを得ず草刈りを行う場合は、水田の薬剤防除計画に合わせて実施します。

（３）いもち病対策

県内で広く発生が確認されており、一部では、発病程度の高いほ場も見られます。早急にほ場を見回り、葉いもちの発生が多い場合は、薬剤の散布間隔があきすぎないように注意するとともに、穂揃期防除の７日後頃に追加防除を行いましょう。

農作業事故と熱中症に十分注意してください！